



クリニックのマザーテレサ

柳澤まきよさん(下大池)

「こんにちは。お久しぶりですね。今日はどうしました？」

あら！それは大変だ。しっかり診てもらってね。

……ところで、おばあちゃんは元気にしてる？」

お世話になった先生への恩返しにと、開業当時から山形整形外科クリニックの案内係を務めるまきよさん。その穏やかな語りかけは、ちょっと不安な待合室を、いつしか癒しの空間へと変えていく。

患者さんにとっては何ともありがたい看板娘……もとい。

看板おばあちゃんなのである。

(5月16日 山形整形外科クリニックにて)

働く姿

告知板

★B & G フールオープン

利用期間 6月27日(土)～9月5日(土)
 利用時間 午前の部 AM9:00～11:50
 午後の部 PM2:00～4:50 (平日)
 PM1:00～4:50 (土・日・祝祭日)
 利用料金 大人(高校生以上) 250円
 中学生以下 無料

●注意事項●

幼児(3歳以下)の遊泳は必ず保護者が一緒に遊泳してください。
 また、オムツの外れていないお子さんの遊泳はできません(水遊びパンツでの遊泳不可)
 小学校3年生以下の児童には保護者が入館から退館まで付き添うようにしてください

6、7月の日程は下記のとおり

月日	曜	午前	午後	月日	曜	午前	午後
6/27	土	無料開放		7/15	水		
28	日			16	木		
29	月			17	金		
30	火			18	土		
7/ 1	水			19	日		
2	木			20	月	無料開放	
3	金			21	火		
4	土			22	水		
5	日			23	木		
6	月			24	金		
7	火			25	土		
8	水			26	日		
9	木			27	月		
10	金			28	火		
11	土			29	水		
12	日			30	木		
13	月			31	金		
14	火						

□ 一般利用 ▨ 休館又は団体使用

春の常会対抗結果

4月19日より始まった常会対抗スポーツ大会も5月24日に全分館終了しました。参加された皆さんお疲れ様でした。後半戦の結果は次のとおりです。



男女混合キックベースボール
 優勝 豆沢北
 準優勝 堤南
 3位 青木沢中

上大池分館 5/17



下竹田分館 5/24

男女混合キックベースボール
 優勝 北中
 準優勝 竹原
 3位 西下・神明

夏祭り山形じゃんぱら
 参加者募集

踊り連、太鼓打ち手、大正琴弾き手、歌い手、踊り手、バンド等演奏者、夜店出店者を募集します。応募方法等は下記へ問い合わせ下さい。(締切7/15。夜店は7/1から受付)

実行委員会事務局
 (☎98-3155 教育委員会内)

6月6日(土)、山形村国際交流会主催のトレッキングが行われました。村内外12名(留学生4人を含む)の参加者が、スカイランドきよみず駐車場を出発し、村内最高地点までの往復10kmを歩きました。当日はとても寒かったため、早めに下山し展望台で自己紹介するなど、楽しく交流をはかることができました。アスパラのお土産も大好評でした。



山形村のてっぺんへ
 留学生とトレッキング

山すそ

先日、フェイスブックを見ていると気になる画像があったので、ポチッと押してみた。20歳以上ですか？

との質問に、そうですよ。『登録完了』これはやばい。冷や汗タラタラ、手は震える。なんとかしなければ。24時間以内なら退会できると。でもメールでは退会できないから電話しろとの説明書きに、電話してしまった。振込み方法を聞き、そのお金をおろそうと出かけたようにした時、たまたま旦那が帰ってきた。恥を忍んで「あのさ」手が滑っちゃってさ。つてのは嘘だけど、この事態を話した。「ほっとけ！」とあっさりした返事は、経験者なのだろうか？その後自宅に電話はかかってくるわ、メールはジャンジヤカくるわで、精神的に追い込まれた。あれほどテレビで見てわかっていながら、自分がこのような事態に巻き込まれるようになるなんて。あの時旦那が帰って来なければ……

「気をつけよう ピンクの映像 IC詐欺！」

福祉交流学習



5月26日(火)、鉢盛中学校1年生の約30人が「デイサービスセンターいちいの里」と「小規模多機能施設すばる」を訪問し、利用者の方との交流、奉仕活動を行いました。この活動は、他者を思いやる気持ち、人のために働くことの喜びを知り、どう生きていくかを考える姿勢を育て、多様な体験で視野を広げることが目的として毎年行われています。参加した生徒は、初めて触る車いすの操作に戸惑いながら、車いすに乗ってみるなど貴重な体験をしました。



りんご摘果作業

5月26日(火)、最高気温が30度近くなる中、山形村の農家6軒で鉢盛中学校2・3年生によるりんごの摘果作業が行われました。生徒は農家の方に教わりながら、はさみを使って中心果以外を切り落とす作業に汗を流しました。

農家の方によると、技術の進歩で摘果作業は昔ほど時間がかからなくなりましたが、重要なところはどうしても人手に頼らなければならないそうです。作業は、地域貢献活動の「ふるさと学習」としてスタートし、地域産業を知るキャリア教育の一環でもあります。農家からの謝礼は、図書購入やPTA講演会などの費用に充てられます。



小学校PTA講演会



5月30日(土)、小学校のPTA講演会が、千葉大学名誉教授で千葉敬愛短期大学学長の明石要一先生を講師に迎え開催されました。当日は、『体格差とその影響』日本の子どもに起こっている問題を考える』と題し、クイズ形式の質問を交えながら、現在の子どもたちが置かれた環境や体験活動の必要性などについてお話をいただきました。

参加した保護者の笑いを誘うユーモアあるお話の中、子どもたちに多くの体験を積ませることが人生の成功の鍵になること、「家づくり」「校風づくり」「地域色づくり」のトライアングルで子育てをすることの大切さなどを説かれました。一時間余りの講演でしたが、先生のお話に共感される方が多く、有意義な講演会となりました。

前期公民館 学級・講座はじまる

公民館学級・講座が始まりました。今年度はガーデニング講座など3つの新しい講座が加わり、みなさんに学びや趣味をお届けするラインナップです。

ガーデニング講座

5月28日(木)、季節の花を使って、寄せ植えを学ぶガーデニング講座が開催されました。

村内で園芸農家を営む小林徹さんを講師に招き、土づくりから寄せ植えの方法、肥料のタイミングなどを習いました。現在、トレセンの玄関には受講者が寄せ植えたプランター11個がきれいに咲いています。ぜひご覧ください。



講座「歩くめぐる史跡・石仏」

山形村に残る史跡・石仏を歩いてめぐる講座が、全7回の日程で5月30日(土)に始まりました。この企画は、昨年好評だった史跡・石仏めぐりの

第2弾で、村教育委員会の文化財担当の説明で、今回は上大池地区をめぐりました。山形で生まれ育った方も転入された方も、山形村の歴史を知りたい機会となっています。



シェイプアッププログラム

現役のスポーツクラブのインストラクターを講師に招き、女性限定のシェイプアッププログラムが6月12日(金)から全5回の日程で開講しました。

家でもできるダイエットに役立つストレッチなどを学び、日頃の運動不足とストレスを解消します。まだ、受講数に若干の余裕がありますので、興味のある方はお問い合わせください。山形村公民館 ☎98-3155



い・育み 始まる



※写真は昨年度の活動のものです。

平成27年4月から新体制で各分館の活動が始まりました。今までの伝統を引き継ぎつつ新しい風を吹き込み、多くの人々を巻き込んで楽しい2年間にしていただきたいものです。4月・5月に行われた「春のスポーツ大会」は、各分館とも盛況のうちを終了しようです。一つの行事をやり遂げ次の企画のために分館役員を引っ張っている分館長に今の熱い思いを聞いてみました。

無理のないご協力を

上大池分館長

中村 晴夫

定年まであと2年なので、が、暇そうだと見なされ分館長になってしまいました。私も現役ですので仕事上どうしても参加できない行事もあります。上大池の自宅にも毎日寝るためだけに帰っています。

団結力の中大池分館

中大池分館長

上條 信一

今年度から、新しい役員体制で中大池分館の事業が始まりました。最初の事業として5月に春のスポーツ大会を行い、区民の皆さま大勢の方に参加していただき、ケガをする人もなく楽しく過ごせたと思います。今後は、それぞれの事業へ邁進していきます。分館としては、自主防災、地域づくりへの協力、区民の集いの「バスハイク」、「お達者いきがい活動」などを予定しています。分館活動を通じて、地域の皆さんとコミュニケーションづくりが出来ればと思っています。

地域の方々とも結びつきが弱く、顔と名前が一致しない方もたくさんおります。このように地域コミュニティの全く欠けた私ですが、自分のできることは精一杯やっています。

本館行事や分館行事もかつてと比べ、だいぶ簡素化・縮小化されてきていると思います。先輩役員の方々が地域や村の皆さんの要望を取り入れ、

村内では一番小さい分館ではありますが、いざという時の団結力には目を見張るものがあると思います。一人でも多くの皆さんに参加していただき、楽しいふれあいの場が出来ればと考えています。役員一同、一丸となって頑張っていきたいと思っております。区民の皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



現状に合ったものに変えられた成果だと思えます。今後

♪あったかいんだから♪

小坂分館長

上條 章彦

「今年度より分館長を務めさせていただけます上條です。よろしくお願ひ申し上げます」と、4月12日の小坂分館運営委員会へ挨拶させていただきました。早くものでふた月半が経とうとしています。洪々？受けさせていだだいた分館長の役ですが、分館三役や社会部・体育部役員の皆様にも恵まれ、4月29日に恒例の体育部事業、春のスポーツ大会から無事スタートする事ができました。7月12日には社会部事業のふれあいフェスティバルが開催されますが、今まで小坂ではやらなかつた事を計

時代は変化していくものですので、それに合ったものにしていくことが大切だと思います。本年度の分館や本館の行事がスタートしているわけですが、できる範囲で結構ですのでご協力をお願いいたします。また公民館行事への要望やアイデア等ぜひお聞かせください。



画しているようなので、大変楽しみです。この後もじゃんずら・村民運動会と続いていきますので、是非小坂分館の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願ひいたします。小坂という分館は大変気取りが良く、まとまりがある所だと思います。分館の事業を通じて皆様の絆や交流を深める手助けが少しでもできればと思います。だって小坂分館は、あったかいんだから♪

2015年度 絆・ふれあひ 分館活動

地域の絆を大切に

下大池分館長
塩原 徳雄

下大池分館は私がこれまで
公民館役員を経験したことが
ないにもかかわらず、意欲的
で責任感のある新役員の皆様
のおかげをもちまして無事4
月から新たな活動をスタート
することができました。最初
の行事となった5月の春のス
ポーツ大会では例年通り多く
の方々にご参加いただき区民
の皆様には楽しいひと時を過
ごしていただくことができました。
6月には春の区民の集
いとして例年人気のボウリン
グ大会を計画しています。7
月以降も例年の活動をベース
に役員の知恵を絞り、また区



民の皆様のご意見も承りなが
らより参加しやすく楽しめる
行事の企画立案をしていく所
存であります。こうした公民
館活動を通じて地域の絆が強
まりお互い気軽に明るく挨拶
や会話のできるそんな活力あ
る地域社会の実現を目指して
役員一同2年間を惜しまず
活動していきたいと思ってい
ます。区民の皆様どうぞ温か
な目で見守っていただけませ
んようお願いいたします。

地域のコミュニケーションを大切に

上竹田分館長
斉藤 春彦

今年の4月より上竹田分館
長になりました斉藤です。よ
ろしく申し上げます。当分館
の行事は、4月19日に春のス
ポーツ大会から始まりました。
当日は曇りから雨になりました。
変更がありました。大勢の
皆さんに参加していただき、
けが人もなくスポーツ大会を
無事終わることができました。
当分館では地域を構成する様
々な住民間での情報交換やコ
ミュニケーションの機会を設
ける場として、春冬のスポー
ツ大会、村民運動会、山形じ
ゃんずら、バスハイク、区民
のつどいなどを予定していま



す。今はパソコンやスマホで
多くの情報を取得することが
できますが、今みなさんが住
んでいる地域の身近な情報等
はパソコンなどでは取得でき
ません。そこで、区民の皆さ
んには分館が予定している行
事に参加していただき、スポ
ーツや文化活動を通じて交流
を図り、地域の情報を多く知
ってもらいたいと思います。
分館の役員も協力しますので、
区民の皆さんの大勢の参加を
お待ちしております。

人と人をつなぐ分館活動

下竹田分館長
根橋 範男

今年度の下竹田分館の事業
は、区民の皆様の笑顔にたく
さん出会えるよう、体育部、
社会部の事業計画を主な内容
として実施をしていきます。
現在の分館事業は、体育、
レクリエーションに関する内

容が主なものとなりますが、
人と人をつなぎ、暮らしの中
に潤いややすらぎを与え、地
域の人間関係を円滑なものに
し、日々の暮らしを活性化し
ていく役割を担っていると思
っています。しかし、社会情
勢の変化により、分館活動へ
の参加者が減少傾向にあるこ
とから、できるだけ多くの区
民の皆様が参加しやすい状況
となるよう、分館事業の内容



を整えていく必要性が求めら
れています。

分館事業は人と人
をつなぐ出会いの場
を創造するものであ
り、事業企画の中に、
この考え方をきちつ
と位置づけ、参加し
て得られる感動や喜
びを多くの区民の皆
様に感じてもらえる
よう、今後の分館活
動を展開していきます
と思っています。

今期も、それぞれの分館で趣向
を凝らし大勢の皆さんが参加して
頂ける行事を企画してくれるはず
です。そこに出かけて行き、いろ
んな人と何気ない話をするだけで
も楽しかったりしますよね。人と
の出会いやふれあひは、人間のみ
ならず地域を育てる大切な肥やし
です。参加した行事の数だけ人や
地域は強くなる！
分館行事に、ご家族で気軽に参
加してみませんか。



きれいになったかな

6月6日(土)、PTA役員、学校職員と6年生の保護者を中心に、小学校のPTA作業が行われました。

今回の作業では、側溝の泥上げ、トイレ掃除、窓拭き、中庭の池の清掃などに加え、夏休みから本格的になる改修工事に合わせ、図書館の本を一時的に視聴覚室へ移動させる作業もありました。本の移動を担当された保護者の方も、図書館にこんなにたくさん本があることに改めて驚いていました。予定していた作業が無事終了し、より過ごしやすい学校になりました。

小学校PTA作業

**地域のため、小学校のため
皆さん汗を流しました**

お疲れ様でした

小学校資源物回収

6月13日(土)、小学校の資源物回収が行われました。PTAの支部役員と高学年の児童も参加し、各家庭から出されたアルミ缶を回収しました。集められたアルミ缶は、各支部で分別され、パッカー車に引き取られました。村民の皆さん、ご協力ありがとうございました。



こんなに集まりました

春の環境整備

6月7日(日)、村内一斉に春の環境整備が行われました。連絡班ごとに、河川・道路の清掃、枝打ちなどの作業を行い、村内の美化に努めました。早朝からの作業、皆さまお疲れ様でした。



中大池上手東連絡班の様子



風

(敬称略)

おめでた(子・親)

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|-------------------|---------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 倉科 彦成・憲之
知子・小坂 | 三枝 奏太・則夫
瑞枝・小坂 | 宮川 恵志朗・智明
恵美・中大池 | 桐原 颯希・貴弘
和恵・下大池 | 山本 莉愛・寛幸
明奈・小坂 | 神通川 杏・賢一
美智子・上竹田 | 上條 ひさ・87歳
下竹田 | 唐沢 義孝・90歳
下竹田 | 林 里子・92歳
下竹田 | 竹野 入茂子・88歳
上竹田 | 本庄 重夫・89歳
下大池 | 籠田 浪人・90歳
小坂 | 住吉 哲郎・71歳
小坂 |
|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|-------------------|---------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|

おくやみ

子どもを育てる

シリーズ⑦

子どもと触れ合う五カ条(前編)

1. 幼い子を決めつけて考えないで
 - 幼児に、劣っているように見える点があっても、駄目な子と決めつけない。
 - 親の分らない、優れたところがあるのではないかと、謙虚な気持ちで見ると、この子には、どこか見落としている立派な持ち前があるのではないかと。
 - 子どもの心をつかむためには何よりもまず、どの子どもも持っているこの持ち前を見つけてあげること。
 - 子どもの能力や性格を早急に決め付けないこと。
2. 個性を尊重しよう
 - ある幼児が、どうしても園に行きたくないと言いだした。その子は、左利きなので、園の先生が左利きを直してあげようと、気がつくたびに注意をしたそうです。
 - 個性のよさをこわさない範囲で導くこと。左利きは悪いという言い方で教育することは個性というものを原則的に否定することになる。
 - この点に気づくことは、お母さんが自分の子育てに、自信をもつ大きな糸口になる。
3. 欠点に目をつぶるつ
 - A男は園にくると、友だちの悪口ばかり言っていた。担任はいつも注意していたが、なかなか直らなかった。
 - ある時、隣の担任が「A男は歌がうまいね」と言った。A男の担任はそのことを知らなかった。気をつけてみていると驚くほどうまい。それからみんなの前で歌わせたり、ほめたりした。ふと、気がつく、A男は近ごろ友だちの悪口を言っていないことに気づいた。
 - どんな子どもでも、その持ち前を伸ばしてあげれば、その持ち前が、その子の欠点をカバーしてくれることに気づく。

6月の声

「子ども会育成会 会長就任にあたって」

山形村子ども会育成会 会長 田村 守康



3年前、子ども会育成会の役員にお誘いを受けたときには、既に自分の子どもたちは大学生。小学生を対象とした事業が中心の育成会の役員をお引き受けることに戸惑いもありましたが、自分の子どもでやり残したことや想いを、地域の皆さんと一緒に実現するのもよいのではないかと考え、活動をスタートしました。

この間、事業を専門部の縦割りに閉じないよう全員体制で進めることや、村内の子ども育成諸団体の活動と連携することなどに腐心して活動を改革してまいりました。また、形骸化していたジュニアリーダー制度を実質的なものとするため、育成会のメイン事業である野外体験イベント「チャレンジ広場」の企画内容を一緒に考える「作戦会議」という場を設定し、子どもの出番を多くして、大人役員と一緒に活動を進めてまいりました。巣立っていったジュニアリーダーが、再び後輩たちの活動に手を貸す姿が生まれてくるように、時間をかけて取り組んでいきたいと考えています。

子どもの成長を通じてそれに関わる我々大人も育つ、そして、そうした活動がつながること地域全体が育つていく、そんな地域像を目指して活動を進めてまいります。小学生のお子さんをお持ちのご家庭もそうでないご家庭も、子どもたちがこの村の風景や人に対する「愛着」を育みながら、いつかこの村、この地域のためにはと思って行動できる大人に育つよう、また将来この村に住みたいと思える地域を作るため、子ども会育成会の活動に対して引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

誌上で巡る

山形の道祖神



四良右門兼氏(下竹田) 28 後編

南向きで道端に建てられたこの道祖神は、他から移された様子はなく、周辺には苔むした道らしき跡が見かけられることから、昔の人々が行き来した道なのではないかと言われています。

また、この道祖神は下竹田の北村にあり、西下・上手村・神明を併せた上耕地地区の四連絡班から年一回、二人ずつ世話人が出て蚕玉様と秋葉様と道祖神のお祭りを併せておこなっています。養蚕が最盛期だった明治四〇年頃までは、子どもたちが太鼓を叩き大人が幟を上げるお祭りでしたが、大正中期頃になると五色の色紙で作った小さい幟に道祖神と書いてお供えするお祭りへと変わっていききました。また綺麗に製本された明治四〇年十月からの会計簿は、上耕地地区の宝として大切に保管されています。

図書館では、ふるさと伝承館に所蔵されている村内の遺跡から出土した縄文土器8点と関連する本や資料を展示し「縄文フェア」を6月12日(金)まで開催しました。

縄文フェア

しおりづくりの様子

「土器を見に来た」と初めて図書館を訪れる人がいたり本を借りに来た親子が展示を見て「どの形が好き？」と話して



展示された土器

をしたり、それぞれに楽しむ様子が見られたそうです。5月16日(土)には、土器の文様を拓本で写し取ってしおりを作る体験が行われ、親子で参加される方も多く、村の文化財に触れるきっかけになりました。当日までに何名もお断りをするほどの参加希望者の多さに、図書館ではさっそく第2弾も検討中です。

7月23日(木)にトレーニングセンター体育館で開催されるコンサートチケットを現在販売しています。このコンサートは宝くじ助成事業により特別料金(2,000円)で鑑賞できます。是非ともこの機会に上質な音楽と触れ合ってみませんか。

お問い合わせは、教育委員会 (☎98-3155) まで。

宝くじまの音楽会
南こうせつwithウー・ファン
～心のうたコンサート～
チケット販売のお知らせ

7月23日(木)
開演 17:00 開演 18:00
宝くじまの音楽会 心のうたコンサート
山形県立トレーニングセンター

演劇 にかける

中学校時代の同級生でつくる 「劇団ポンスケ」の座長



たくみ
高山拓海さん (下竹田)

今年3月に地元山形村で旗揚げ公演を成功させた『劇団ポンスケ』。鉢盛中学校時代、一緒に演劇部で活動した同級生たちが、また一緒にやりたいという思いで集結した。その座長を務めるのは現在高校2年生高山拓海さん。

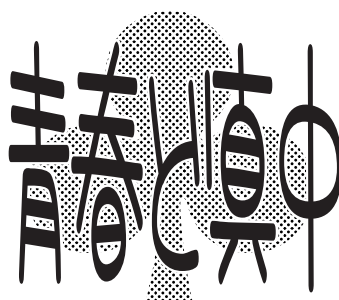
昨年11月に立ち上げ、現在6名(うち、4名が山形村民)で活動している。演劇を始め、たきつけは、同じく鉢盛中学校演劇部で部長を務めたお姉さんの影響が大きいそうで、小学生の時、中学生の劇を観て「俺と歳もそんなに変わらないのにすごいな」と衝撃を受け、そこから演劇にのめり込むようになった。

脚本は、すべて拓海さんが書き、およそ2ヶ月ほどで一話を書き上げる。常に演劇のことを考えていて、授業中もよい言葉が見つければノートに書き留めておくという。

劇団のコンセプトは、青臭く、エネルギーッシュに！

「若い力を劇を通じて皆さんに伝えられればいい。12月に予定している本公演「カラクリアル」をぜひ、観に来てください」と笑顔で語ってくれた。

な な は
鈴木夏々葉さん
(中2)
上竹田



いる き
柴田入毅くん(6年)
ゆ だい が とう
樫大くん・雅兜くん(4年)
小 坂

チームを引っ張る
元気娘



全国大会で
勝つぞ！



小学校5年生から始めたバレーボール。とにかく明るい性格の夏々葉さんは、鉢盛中女子バレー部でもムードメーカーとして欠かせない存在。今の目標は、ひとつでも上の大会に進むことだ。

部活に行く準備のため、家族の中で一番早く起きる頑張る屋さんの夏々葉さん。

家では好きなE-Girlsの音楽を聴いてリラククス。料理作りが大好きでなかでもふわふわのスクランブルエッグはおてのもの。

将来は、「周りの人を元気にできるような仕事がしたいな」と笑顔で語ってくれた。

先日行われた全日本学童軟式野球長野県大会を勝ち抜き、全国切符を手にした山形キヨミズ。主力選手として活躍する入毅くんは、父親に誘われる野球を始めたという。おとなしい性格ではあるが、内に秘めた闘志とプレーでチームを引っ張る。そんなお兄ちゃんをみて野球を始めた弟の樫大くんも雅兜くんも野球が大好きだ。頑固一徹の樫大くん、天真爛漫の雅兜くん、それぞれ性格の違う3人の将来の夢はプロ野球選手になること。まずは全国大会で1勝。

頑張れ野球小僧！